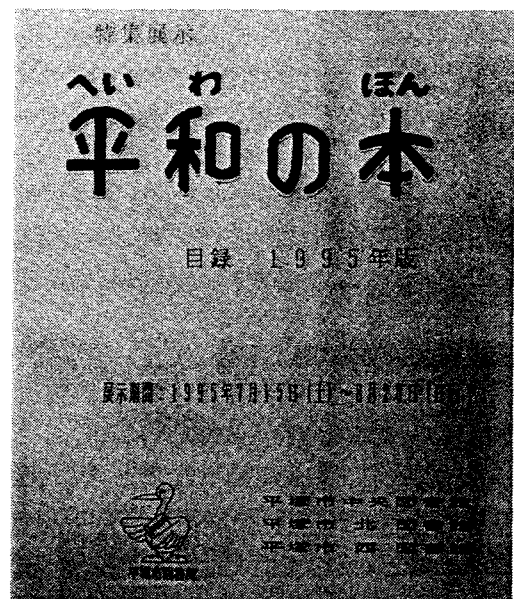
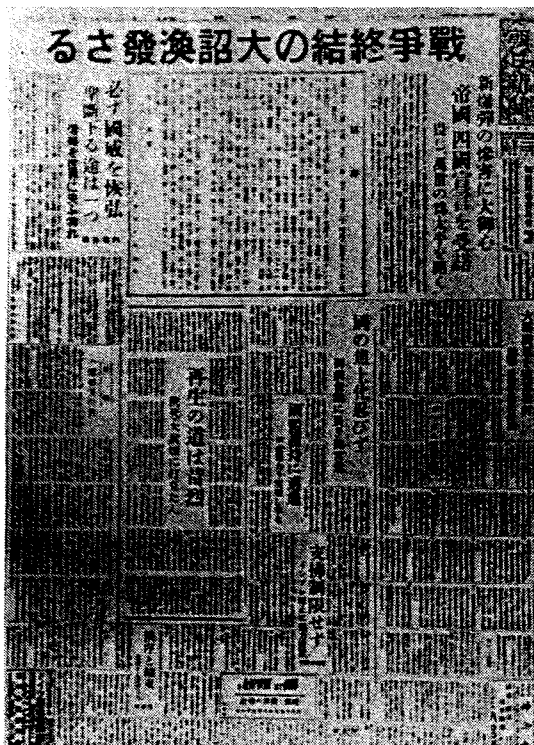




一戦後50年一

★特集 平和を考える★



←朝日新聞
昭和20年8月15日号

平塚市では、過去に戦災を被り市域の多くを焼失した悲しい歴史を持っています。こうした惨禍を繰り返すことのないよう、平和を次代へ引き継いでいくために「核兵器廃絶平和都市宣言」を掲げています。

7月～8月にかけて平和月間を設け、その期間中さまざまな催しが各地で行われます。

図書館でも、この期間中、平和や戦争・核兵器等に関する本を集め、「特集平和の本」展を開催します。

今年は、7月15日（土）～8月20日（日）までの期間中、中央図書館（貸出室、こども室）・北図書館・西図書館（一般室・児童室）で、それぞれ資料の展示を行います。

これらの展示資料も借りることが出来ますので

どうぞ御利用下さい。

また、これらの展示資料の所蔵目録を作成し、希望者にはお配り致しますので、展示と伴に御利用いただければ幸いです。

映像資料として、中央館・西館では平和映画会を開催します。上映日程や作品名については3面に掲載してありますので、是非御来場下さい。

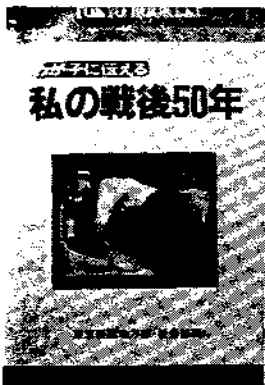
中央図書館貸出室では、特に「ヒロシマ1945」フォトCDディスク等の上映を毎日2回行いますので、合わせて御鑑賞下さい。

今年は戦後50年という節目の年でもあります。現在地球上では、様々な所で戦争が行われています。もう一度戦争の悲惨さを知り、平和とは何かを考えるきっかけとして、この展示を御利用いただければと考えております。

△▼△平和の本△▼△

●一般書

◎「わが子に伝える私の戦後50年」



東京新聞地方部社会部／編
東京新聞出版局
東京新聞の地方版に寄せられた、読者の戦争体験集。戦争の悲惨さを知らせることで、戦争を知らない世代に平和とは何か？を問いかけている。

また、横浜大空襲の体験も掲載されている。

◎「被爆朝鮮人教師の戦後誌」



朱硯／著 明石書店
この本は、被爆した朝鮮人教師のつぶやきである。筆者は、教師という立場から一貫した反核・反差別の姿勢をとり、日本人の過ちをただそうとしている。ヒロシマの傷はまだいえない・・・

◎「原爆を見た聞こえない人々」

長崎県ろうあ福祉協会／編 文理閣

◎「ひめゆりの塔をめぐる人々の手記」

中曽根改善／著 角川書店

●こどもの本

◎「まっ黒なおべんとう」



児玉辰春／文 長澤靖／絵 新日本出版社
広島に原爆が投下された朝建物疎開の作業に出かけたまま、しげるは二度と帰ってきませんでした。原爆資料館にある弁当箱のかなしいおはなしです。まっ黒な弁当のうらに秘められたことが、小さくても人々の心をゆりうごかすにちがいありません。

◎「母と子でみるひめゆりの乙女たち」

朝日新聞企画部／編
草の根出版会

◎「アンネのアルバム」

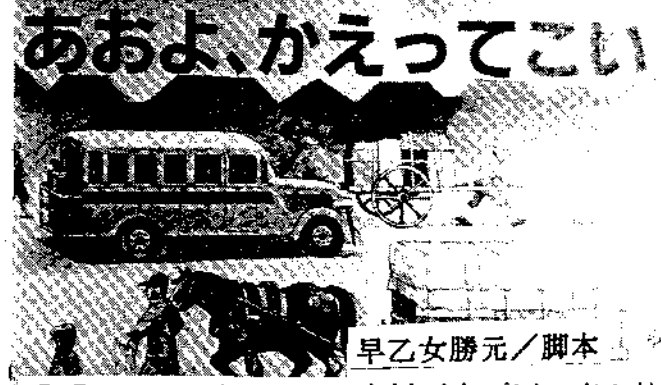
オットー・フランク／著 小学館

◎「千羽づるのねがい」

山下夕美子／著 小学館

●紙芝居

◎「あおよ、かえってこい」



早乙女勝元／脚本

◎「かわいそうなぞう」木村正志／画 童心社

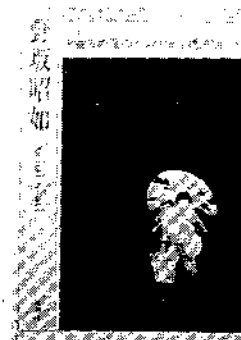
◎「トビウオのぼうやはびょうきです」

●カセットブック

◎「火垂の墓」

野坂昭如／著 橋爪功／朗読

新潮社



敗戦前後の神戸を舞台にショッキングな場面から始まる。

あらためて、戦争とは悲惨であるとの思いを新たにす。

第58回直木賞を受賞した作品。

◎「戦艦大和の最期」

吉田満／著 竹内三郎／朗読 世界文化社

◎「山本長官機撃墜さる」

吉村昭／著 篠原大作／朗読 文芸春秋社

◎「海軍を語る一人事・組織・教育」

阿川弘之／講演 新潮社

●ビデオ

◎「炎の証言～戦争と女性たち～」

◎「炎の証言～これが空襲だった～」

◎「炎の証言～戦争と子どもたち～」



企画／日本遺族会

NHK情報ネットワーク
300万人を越える犠牲者を出した太平洋戦争。

父・夫・息子を戦場に送り出した女性たちは、どのように生きたのか。

日本本土への空襲の実態、子どもを巻き込んだ戦争、戦後50年の鎮魂に願いをこめて制作された。

◎「もうひとつのヒロシマ」

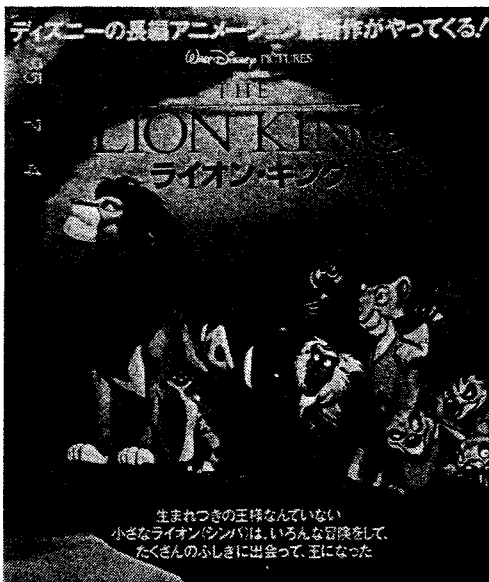
○○●図書館の行事○○●

★中央図書館★

ビデオ・16ミリ映画会

(毎日曜日 10時と14時より)

- 7月2日 「七夕さま」
「ミリ子は負けない」
- 7月16日 「夏の星」「恐竜時代」「幽霊屋敷」
- 7月23日 「おぼけちゃん」「青い鳥」
- 7月30日 「教えられなかった戦争」



- 8月6日 「ちいちゃんのかげおくり」他
- 8月13日 「阪神淡路大震災に学ぶ」他
- 8月20日 「愛は海より深く」
- 8月27日 「ライオンキング」
- 9月3日 「ネバーエンディングストーリー3」
- 9月10日 「白雪姫」
- 9月17日 「キアテン翼最後の対決! 翼对小次郎」
- 9月24日 「ジャングル大帝 森の掟」

■西図書館■

16ミリ映画会

(第1・3金曜日 15時より)

- 7月7日 「七夕ものがたり」
「ふしぎな錦」
- 7月21日 「東京ヒロシマ子ども派遣団 1986年」
「とらねこめいたんてい」
- 8月4日 つるにのって「ともこの冒険」
「幸福の王子」
- 8月18日 「みいちゃんのとてのひら」他



- 9月1日 「大地震が学校をおそった」
「お百姓のあし、坊さんの足」

●CD-ROM



CDROM

◎「ヒロシマ・1945」

朝日新聞写真データベース
委員会/編 朝日新聞社
1945年8月6日に被爆した
広島。
その被害を写した写真を集
め、それに解説が加えられ
た映像資料。被爆当日の被
災者の姿など、惨状を伝え
ています。

●16ミリ映画

◎「なっちゃんの赤いてぶくろ」

西野 綾子/原作 東映

原爆の光に焼かれた
なっちゃんは、公園の
小さなベンチに残され
た影となってしまふ。
長い歳月を影の姿です
ごしてきたなっちゃん
は、親友のとしちゃんと
再会します・・・



◎「おこりじぞう」

◎「トビウオのぼうやはびょうきです」

夏期の開館時間

●中央図書館

7月21日～8月30日

火水木 9時～17時50分

金 9時～18時50分

土日 9時～16時50分

こども室は時間延長はありません

○西・北図書館

火～日 9時～16時50分

月曜日と7月31日、8月31日は休館日です

特集 坂口安吾の本

—没後40年記念—

日時 9月9日(土)～9月24日(日)

場所 中央図書館 貸出室

募集

16ミリ映写機操作技術講習会

日時：7月15日(土)

場所：中央図書館

希望者は電話でお申し込みを

電話(31)0415 内23

○利用統計

個人貸出状況(平成7年度4月～6月)

区 分	中央図書館	北 図 書 館	西 図 書 館	自動車文庫	合 計
入 館 者 数	202,241人	40,948人	50,749人	— 人	293,938人
貸 出 点 数	138,361点	60,728点	92,349点	24,870点	316,308点
登 録 者 数	43,414人	8,592人	8,536人	5,502人	66,044人

○資料統計

蔵書数(平成7年6月末現在)

(単位 冊)

	中央図書館	北 図 書 館	西 図 書 館	自動車文庫	合 計
図 書	268,211	82,806	106,384	53,644	511,045
うち児童書	(55,920)	(32,215)	(49,642)	(25,693)	(163,470)

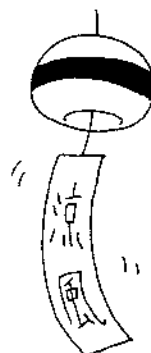
視聴覚資料(平成7年6月末現在)

16ミリ映画フィルム	521 本	ビデオテープ	6,805 本
CD(コンパクトディスク)	10,008 枚	LD(レーザーディスク)	1,171 枚

編集後記

先日、幼い頃に大好きだった絵本をこども室で見つけました。ページをめくると、そのころの思い出がうっすらと浮かんできます。

これから暑い日が続きますが、疲れたときに好きだった本を読み返すのも、夏バテ防止になるかもしれません。



中央図書館

☎(31)0415

西 図 書 館

☎(36)3555

北 図 書 館

☎(53)1232